

経営学研究科博士論文評価基準

学生は、指導教員が明示した研究指導計画に基づいて研究方法及び内容を含む「研究指導計画書(様式8)」を作成し、指導教員了解のもと、各年度の4月末まで事務課(教育支援担当)に提出すること。

博士論文は、原則として別表に示す「経営学研究科博士論文の評価基準」に従って総合的に評価する。また、研究テーマに関連した文献の探索、文献の読解、事例研究等を進める中で、創造的、独創的な研究能力を育成しつつ、博士論文の作成について指導を行う。

所定の単位の修得が見込まれることに加え、論文テーマに関する専門学術誌に掲載または受理された論文(もしくはこれに準ずる論文)を有すことを博士論文提出の要件とする。

区分及び配点		評価項目及び基準	
1. テーマ設定及び研究方法	30	テーマの適切性	テーマ設定が経営学の学術研究として位置づけられる。
		先行研究	当該分野の代表的な先行研究を把握し且つ理解している。
		研究方法	研究テーマにふさわしい研究の方法がとられている。
2. 内容の妥当性	30	専門性	現代経営学の知識・知見に基づいた考察がなされている。
		論理性	論理的に一貫した考察がなされている。
		客観性	公正で客観的な考察がなされている。
3. 独自性	30	独創性	考察の結果から得られた知見が何らかの独創性を有している。
		貢献性	学会への学術的貢献や社会への知的な貢献の可能性を有している。
4. 形式等	10	体裁・書式	誤字、脱字、引用、参考文献等の体裁は適切になされている。
		研究倫理の遵守	研究対象者等への倫理的配慮が適切になされている。

※配点は100点満点とし、60点以上を合格とする。

この「論文評価基準について」は、平成29年度より運用する。